

ブック

本著は、フィンランドの英語教育等を紹介し、日本の英語教育に示唆できる点について述べている。

フィンランド

はPISSA（国際的学習到達度調査）の好成績により、世界中

から教育国として

注目を浴びるよう

になった。この国

では75%の人々が

外国語を話すこと

ができる。英語母

語話者からみれば

「言語的、もしくは

は文化的に非常に

異質な言語」を母

語としているが、

英語力を比較する

とTOEFL i

BTの平均点が95

点前後で、毎年世

界の上位国に入っている。この

秘訣はなんだろうか？

「学校における英語教育の成果

が反映されている」と英語教育

を専門としている著者が主張し

ている。彼女は、外国語教育の

知見や文部科学省の資料等及び

授業参観等の実践研究等を基に

して、例えば、小学校英語教育

では以下のように成功要因を述

米崎 里 著

1980円 亜紀書房

☎03-5280-0261

フィンランド人は
なぜ「学校教育」だけで
英語が話せるのか

米崎 里



フィンランド人は
なぜ「学校教育」だけで英語が話せるのか

べている。外国語教育は1学年から導入されており、多くの児童は英語を選択している。専科教員が基本的には英語で授業を行っている。クラスサイズは、言語学習には少人数の方が効果的であるとの認識が高く大半が15人以下である。教科書は分厚く、本文が掲載された読本と学習項目のエクササイズや楽しいアクティビティが含まれているワークブックの2冊併用となっており、ワークブック中心の授業が行われている。また、中学校・高等学校の英語教育でも同様に全ての授業で学習者が主体であり、教師はコミュニケーションのまとめ役 (facilitator) であること、デジタル教材の積極的な活用、ペアワークの効果的な方法等、様々な成功要因について述べられている。

さらに、教育の機会均等の保障や早期学習支援、少人数制での指導、教員養成の充実、教員研修等、教育に対する多くの成功要因を紹介している。

(愛知教育大学教授・高橋美由紀)